

(1) 懇談会等を踏まえた施策内容の修正について

【基本目標 1】

基本目標 1

●施策1-2「こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり」

意見（第1回専門部会より）	対応
<p>目標値のところ、「相談先を知っているかどうか」について、知っているが相談しにくいという人たちが、実は結構いるのではないか。そうすると、この目標値で凶ってしまっているのか。もう少しこどもや子育て家庭の人たちが、いざというときに頼れるところがあるかどうかという主観的な部分でしっかり評価していかなくてもいいのか、と思う。</p>	<p>指標②「妊娠や出産、子育ての相談先を知っている妊婦及び子育て家庭の割合」に加え、<u>実際に相談できる環境にあるかを測る指標として、指標③「悩んだり困ったりした時に相談できる人または相談できる場所がある区民の割合」を追加。</u></p>

1-2 こども・子育て家庭を地域や社会全体で支える環境づくり

【参考】対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

基本目標 未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち

まちの姿

- ・ 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。
- ・ 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。
- ・ 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

4 めざす姿

めざす姿①

妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートが受けられるようになり、すべての子育て家庭が孤独や孤立を感じることなく安心して子どもを産み、喜びややりがいを感じて子育てをしています。

対応する課題

課題①②③

④⑤⑥⑦

5-1 指標名

指標①（めざす姿①に対応）

子育てに関して孤独や孤立を感じている区民の割合

指標②（めざす姿①に対応）

妊娠や出産、子育ての相談先を知っている妊婦及び子育て家庭の割合

【参考】 対応する基本構想で描いた2040年ごろのまちの姿

基本目標	未来を創り出す子どもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち
まちの姿	<ul style="list-style-type: none"> 希望する誰もが、安心して子どもを産み、育てることができ、子どもたちが愛情を注がれて健やかに成長しています。 子どもたちをあたたかいまなざしで包み、こどもの声に耳を傾けながら、地域全体で子育て・子育てを支えています。 子どもたちが安全・安心で自分らしく過ごせる居場所や楽しくのびのびと遊ぶ場所が充実しています。

4 めざす姿

めざす姿①	対応する課題
<p>妊娠期から切れ目なくサポートが受けられるようになり、すべての子育て家庭が孤独や孤立を感じることなく安心して子どもを産み、喜びややりがいを感じて子育てをしています。</p>	<p>課題①②③ ④⑤⑥⑦</p>

5-1 指標名

指標①（めざす姿①に対応）
子育てに関して孤独や孤立を感じている区民の割合

指標②（めざす姿①に対応）
妊娠や出産、子育ての相談先を知っている妊婦及び子育て家庭の割合
指標③（めざす姿①に対応）
<u>子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人または相談できる場所がある区民の割合</u>

5-2 指標・目標値

■ 指標③ 子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人または相談できる場所がある区民の割合

(1) 指標の把握方法・算出方法

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

「あなたは子育てに悩んだり困ったりした時に相談できる人または相談できる場所がありますか。」という設問に対し、「ある」と回答した区民の数/調査回答総数×100

(2) 指標の過去データ

なし

(3) 最新値

(4) 目標値

なし

最新値取得次第設定

(5) 目標値の設定理由

次年度以降に実施する区民意識調査により、最新値を把握したのちに目標値を設定する。

基本目標 1

● 施策1-3

「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きるこどもの育成」

意見	対応
<p>課題④「教師は～指導力を向上させることが求められる」と記載されている。その課題④が対応するめざす姿③は主体が子どもだからこどもの国語の正答率とかで見ている。これに対応する施策が必要ではないか。</p>	<p><u>課題④の内容を修正し、課題、めざす姿、指標を全てこどもの視点に統一する。</u> また、めざす姿①②③を実現するためには、教師の役割が大変重要であり、今後、教師力を向上させていくことが求められる。そこで<u>課題⑤⑥を追加し、教師力の向上、学校における働き方改革の推進について記載し、施策の方向性④につなげていく。</u></p>
<p>運動習慣と食育が並列で並んでるが、運動習慣は身につけるべき態度でいいと思うが、食育は、育ませることをいうので違和感がある。運動習慣を身につけさせることと、食育は並列だと思う。単純日本語の問題。</p>	<p><u>施策の方向性③の文言を修正</u></p>

基本目標 1

● 施策1-3

「豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成」

意見（第1回専門部会より）	対応
<p>先生の支援というのが、何らかの柱であっても良いのかもしれないと感じた。先生が、自分たちのやりたい教育をしていけるんだ、という環境づくりというのはすごく大事だと思う。</p>	<p>施策の方向性④に教師の働き方改革の内容を追記。</p>
<p>学校力の向上について、学校の中も事務の効率化とかDX化を行って、先生の負担を軽くするような施策が必要だと思う。</p>	
<p>教師の自由な学びをもっと保障するにはどうしたら良いかということ、チャレンジして欲しいというふうに思う。</p>	
<p>本当に教育の質を高めるっていう意味では、学校の先生が当然のことながらキーポイントになってくるのではないかと思う。先生の質の向上というところは引き続き行い、先生の待遇面もそうだが、心のサポートも含めて、ぜひ支えていただきたい。</p>	
<p>教師になった人に聞くと、忙しくて教材を研究する時間がないと言う。提出する書類を出すだけで一日終わってしまう。それは改善して欲しいと思う。</p>	

1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

3 現状と課題

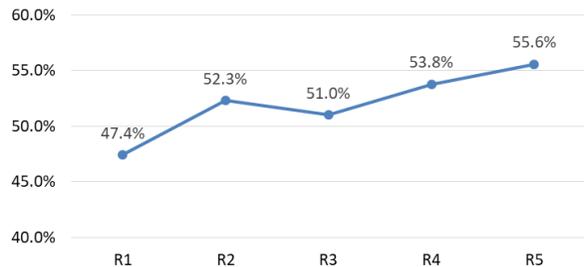
現状③

英語教育では、外国語教育指導員の活用等により、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能を総合的に向上させています。（参考：図表②）

課題③

グローバル化が進展した社会において活躍するためには、英語での実践的なコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、豊かな国際感覚を醸成することが求められます。

図表② 英語検定3級以上を取得している生徒の割合（中学校第3学年）



資料：「大田区教育委員会調査」

現状④

豊かな人生を生きていく上で基礎となる豊かな心や確かな学力、健やかな体の調和のとれた子どもを育てる教育が行われています。

課題④

教師は、子どもたちが幸福感や自己肯定感など、ウェルビーイングを実感しながら可能性を最大限に引き出していけるよう、指導力を向上させていくことが求められています。

1-3 豊かな人間性と確かな学力を身に付け、グローバル社会を創造的に生きることの育成

3 現状と課題

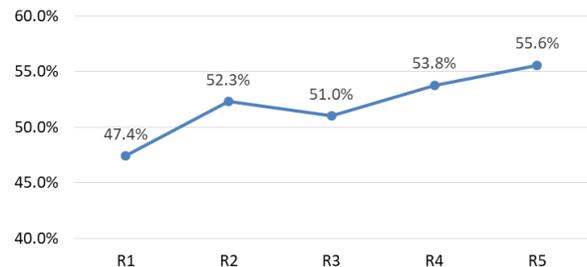
現状③

英語教育では、外国語教育指導員の活用等により、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、「聞く」「話す」「読む」「書く」の英語4技能を総合的に向上させています。（参考：図表②）

課題③

グローバル化が進展した社会において活躍するためには、英語での実践的なコミュニケーション能力を育成するとともに、異文化に対する理解を深め、豊かな国際感覚を醸成することが求められます。

図表② 英語検定3級以上を取得している生徒の割合（中学校第3学年）



資料：「大田区教育委員会調査」

現状④

学校では、豊かな心や確かな学力、健やかな体の調和のとれた子どもを育てるため、豊かな情操や道徳心の涵養、基礎学力の定着、体力向上や食育の推進などに取り組んでいます。

課題④

今後の学校教育では、主体的な学習や話しあいによりお互いの考えを深める協働的な学習を通して、学びの質を高めていくことが求められています。また、子どもたちが幸福感や自己肯定感など自分自身のウェルビーイングを実感しながら、社会の形成者として地域や社会全体の幸福を追求する心をはぐくむ学びが求められています。

3 現状と課題

現状⑤

教師は、ICT環境の効果的な活用やグローバル化への対応、特別支援教育の充実、いじめや不登校等の生活指導上の課題への対応など、時代とともに変化する教育ニーズにも応えながら指導を行っています。



課題⑤

教育は人なりと言われるように、子どもたちの成長には教師の役割が大変重要です。教師は、学校教育を取り巻く環境の変化に対応し、新しい知識・技能を学び続けるとともに、子どもたち一人ひとりの可能性を最大限に引き出していけるよう、教師力を向上させていくことが求められています。

現状⑥

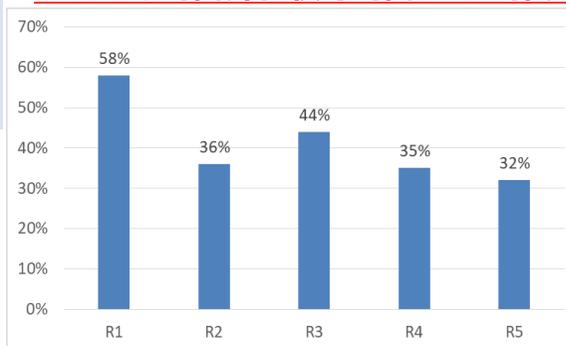
教師の長時間勤務が社会問題化する中、「大田区立学校における働き方改革推進プラン」を策定し、学校における働き方改革の取組を推進しています。しかし、1か月の時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合は依然として32%にのぼります。（参考：図表㊦）



課題⑥

依然として長時間勤務の教師も多いことから、教師が心身の健康を損なうことなく働けるよう、勤務環境を整える必要があります。

1か月の時間外在校等時間が45時間を超える教職員の割合



資料：

「大田区教育委員会資料」

6 施策の方向性

① 予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成



社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、課題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。

② 世界とつながる国際都市おおたを担う人財の育成



英語での実践的なコミュニケーション能力を着実に高めるとともに、我が国や郷土の伝統や文化に触れ、尊重する心や、異なる文化や価値観を持つ相手と積極的にコミュニケーションを取りながら、相手の考え方を理解し、互いに認めあった上で合意形成を図ったり、協力していく態度を育成します。

また、国際社会・地域社会に関心を持ち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。

③ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成



子どもたちのウェルビーイングを高めながら、確かな学力や意欲を持って自ら学ぼうとする資質・能力を育てます。また、読書習慣の定着や道徳教育、命の教育などにより豊かな情操や道徳心を培い、自立した人間としてより良く生きるための豊かな心をはぐくみます。さらに、運動習慣や食育など生涯にわたって健康の維持増進を図る態度を育みます。

6 施策の方向性

① 予測困難な未来社会を創造的に生きる力の育成



社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、課題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。

② 世界とつながる国際都市おおたを担う人財の育成



英語での実践的なコミュニケーション能力を着実に高めるとともに、我が国や郷土の伝統や文化に触れ、尊重する心や、異なる文化や価値観を持つ相手と積極的にコミュニケーションを取りながら、相手の考え方を理解し、互いに認めあった上で合意形成を図ったり、協力していく態度を育成します。

また、国際社会・地域社会に関心を持ち、持続可能な社会を形成していく態度を育成します。

③ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成



子どもたちのウェルビーイングを高めながら、確かな学力や意欲を持って自ら学ぼうとする資質・能力を育てます。また、読書習慣の定着や道徳教育、命の教育などにより豊かな情操や道徳心を培い、自立した人間としてより良く生きるための豊かな心をはぐくみます。さらに、**運動習慣の確立や食育の推進などにより**生涯にわたって健康の維持増進を図る態度を育みます。

6 施策の方向性

④こどもたちの可能性を引き出す学校力・教師力の向上



こどもたちの未来を創り出す力を育成するため、こどもたち一人ひとりの最適な学びを実現する授業改善を推進するとともに、研修の充実等により教師が備えるべき資質・能力を高め、教師の指導力を一層向上させます。また、質の高い教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に対応するため、学校の組織的な運営力を向上させます。

6 施策の方向性

④こどもたちの可能性を引き出す学校力・教師力の向上



こどもたちの未来を創り出す力を育成するため、こどもたち一人ひとりの最適な学びを実現する授業改善を推進します。**また、学校における働き方改革を推進し、教師がこどもたちに向き合う時間を確保するとともに、研修の充実等により教師が備えるべき資質・能力を高め、教師の指導力を一層向上させます。**

さらに、質の高い教育の実現や複雑化・困難化する教育課題に対応するため、学校の組織的な運営力を向上させます。